慶應義塾大学 若手研究者育成ものづくり特別事業

2015年度より開始された本事業は、理工学部を中心に湘南藤沢キャンパスを含み、ものづくりの将来を担う資質豊かで指導力ある若手研究者の育成を目的に、以下の事業を行っております。

〇各事業内容

（１）若手研究者の海外共同研究の推進（2015年度～）
ものづくりの将来を担う、資質豊かで指導力ある若手研究者の育成を目的とし、理工学部・理工学研究科および湘南藤沢キャンパスの後期博士課程学生、45 歳以下の専任教員を対象に、海外共同研究のための費用を補助します。

（２）学際的研究・交流プロジェクトの推進（2018年度～2022年度終了）
慶應義塾の国際的レピュテーションを高めることが期待される研究分野で、学部・研究科・大学付属研究所等の学際的、分野横断型の新しい研究・交流プロジェクトについて補助します。特に大型の研究費取得や企業連携への萌芽となることが期待される研究を支援します。

（３）塾生の基礎英語力習得プログラムの実施（2018年度～2020年度終了）
留学等を通して、国際的視野・経験に富む研究者を育成するため、塾生を対象として、希望する留学先等の応募条件となる英語力（TOEFL等）の習得を支援します。

（４）先導的研究プロジェクトの推進（2023年度～）
慶應義塾大学の国際的レピュテーションを高める先導的な研究課題で、独創性、学際性、発展性に優れたプロジェクトについて補助します。理工学研究科内にアドバイザーを設置し、プロジェクト構築・実施において助言や支援を継続的に行います。候補者は原則として45歳以下の専任教員です。

〇活動実績

■2015年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業を実施。
採択された22名が、8カ国19大学･機関に渡航しました。

■2016年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業を実施。
採択された22名が、16カ国25大学･機関に渡航しました。

■2017年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業を実施。
採択された22名が、15カ国27大学・機関に渡航しました。

■2018年度
・制度の見直しが行われ、従来の「若手研究者の海外共同研究の推進」に加え、「学際的研究・交流プロジェクトの推進」、「塾生の基礎英語力習得プログラムの実施」事業が実施されました。
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業にて採択された7名が5カ国7大学･機関に渡航しました。
・「学際的研究・交流プロジェクトの推進」事業にて、事業運営委員会より研究課題として「医工連携」が指定され、12名が採択されました。
・「塾生の基礎英語力習得プログラムの実施」事業にて、98名が採択されました。

■2019年度

・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業にて採択された8名が7カ国9大学･機関に渡航しました。
・「学際的研究・交流プロジェクトの推進」事業にて、事業運営委員会より研究課題として「医工連携」が指定され、12名が採択されました。
・「塾生の基礎英語力習得プログラムの実施」事業にて、45名が採択されました。

■2020年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業にて採択された2名について新型コロナウイルスの影響で海外渡航ができませんでした。
・「学際的研究・交流プロジェクトの推進」事業にて、事業運営委員会より研究課題として「医工連携」が指定され、3名が採択されました。
・「塾生の基礎英語力習得プログラムの実施」事業にて、17名が採択されました。
・「塾生の基礎英語力習得プログラムの実施」事業は、2020年度で終了しました。

■2021年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業は、新型コロナウイルスの影響で海外渡航ができず、補助できませんでした。
・「学際的研究・交流プロジェクトの推進」事業にて、5名が採択されました。

■2022年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業にて、5名が採択されました。
・「学際的研究・交流プロジェクトの推進」事業にて、4名が採択されました。

■2023年度
・「若手研究者の海外共同研究の推進」事業にて、2名が採択されました。
・「先導的研究プロジェクトの推進」事業にて、1名が採択されました。